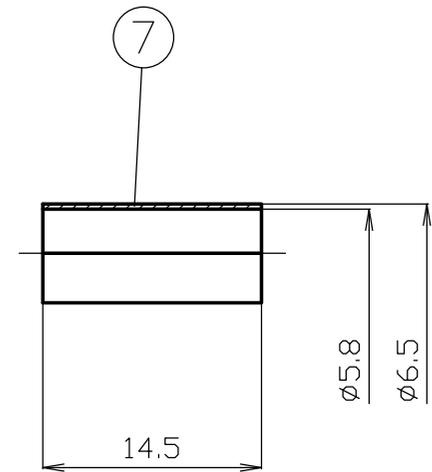
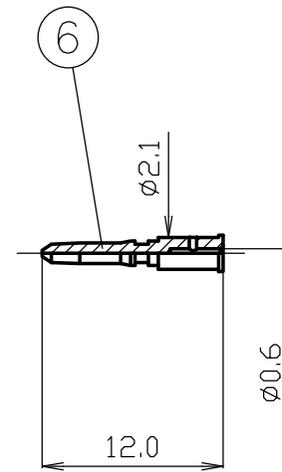
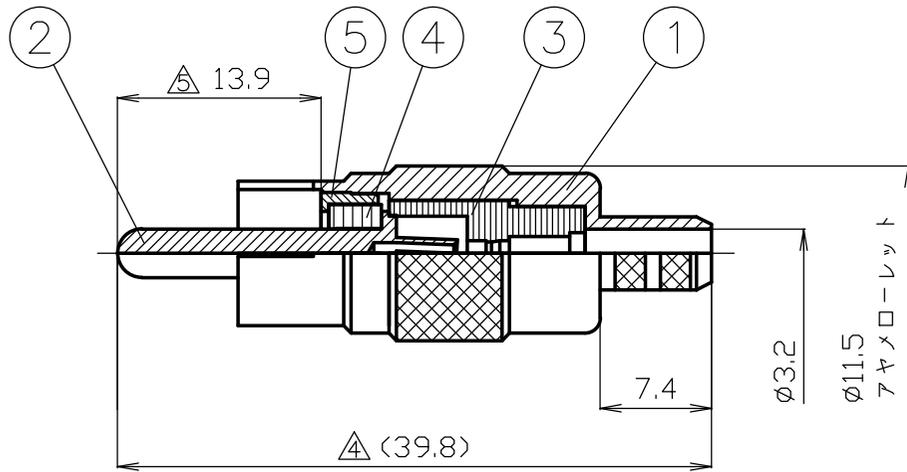


番号	変更・記事	日付	確認
△	構造変更	2001,03,09	済
△	図面変更	2005,04,01	済
△	寸法削除 8.0	2011,02,25	済
△	寸法変更(39.4 → 39.8)	2011,02,25	済
△	寸法追記 13.9	2011,02,25	済
△	RoHS表記 追加	2011,02,25	済
△	社名変更	2012,02,14	済



△※黄銅 カドミウム含有濃度 75ppm以下

△ **RoHS適合品**
カドミウム 75ppm以下

番号	部品名	材質	数量	処理	備考	日付	製図	検図	承認	確認	品名
7	圧着スリーブ	※黄銅	1	Ni		2/1	山	檜	山	中村	RP-3A
6	中心コンタクトB	※黄銅	1	Au			'12,02,14	'12,02,14	'12,02,14	'12,02,14	
5	プッシング	※黄銅	1	Ni			口	澤	本	義	
4	絶縁体B	デルリン	1	--		単位					
3	絶縁体A	デルリン	1	--		mm					
2	中心コンタクトA	※黄銅	1	Au		日付					
1	シェル	※黄銅	1	Ni		1994,05,11	投影法				
									株式会社 トーコネ TO-CONN CO., LTD.		図番 S-0910546

仕 様 書

品 名 RP-3A

No. 0910272

図 番 S-0910546

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格
2 定格電圧
3 定格電流
4 使用温度範囲

EIAJ RC-5231
AC 12V
AC 1A
-40~85°C

確 認	検 印	作 成
山 15.12.22 本	檜 15.12.22 澤	渡邊 15.12.22 直弘

	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 S-0910546)	異常のないこと
2			
3			
4	絶縁抵抗	DC 500V	100MΩ 以上
5	耐電圧	AC 500V 1分間	異常のないこと
6	接触抵抗	試験電流100mA以下	50mΩ 以下
7	特 性		
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	適合ケーブル	3C-2V ・ EM-3C-2E	
10	的 特 性		
11			

GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	書式変更	2005. 04. 01
2	社名変更	2012. 02. 14
3	使用温度範囲・適合ケーブル 追記	2015. 12. 22

RP-3A 取付仕様書

部品構成

専用圧着工具
TA-34
(本体表示：DCC 1113)

専用圧着工具
TA-35
(本体表示：53-8242)



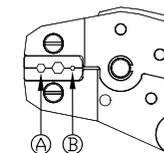
シェル



中心コンタクト



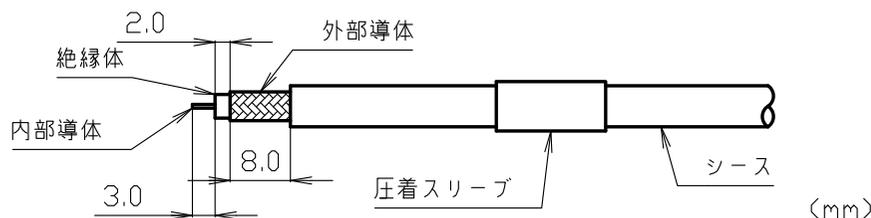
圧着スリーブ



図番 S-0910546

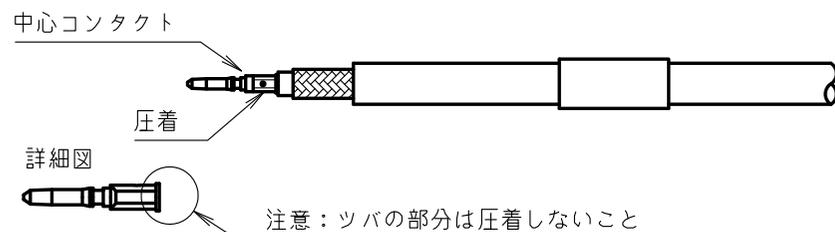


作成	確認
檜 '12,11,29 澤	山 '12,11,29 本

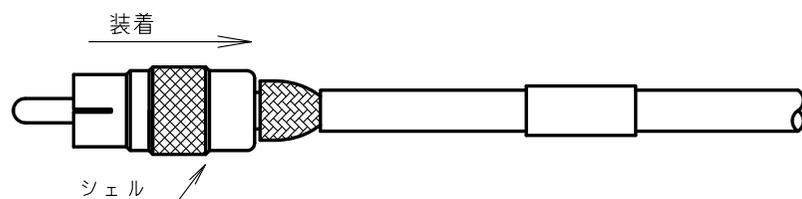


番号	変更・記事	日付
△	社名変更	2012.02.14
△	TA-35 追記	2012.11.29
△	TA-35 ご使用上の注意参照 追記	2012.11.29

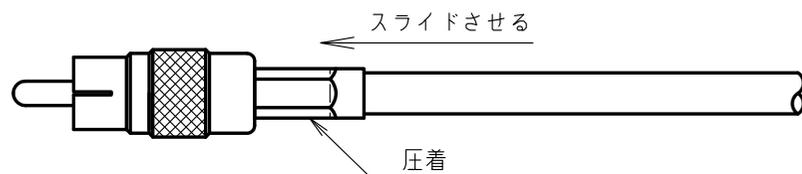
① 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シース、絶縁体、外部導体を図中の寸法で切り取る。外部導体は、後にシェルを取り付けやすくするため外側に広げておく。



② 中心コンタクトを内部導体に装着して圧着工具のB部で圧着をする。
注意：中心コンタクトが曲がったりしない事。
中心コンタクトのツバの部分は圧着しないこと



③ シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に入る様に装着する。
この時、ピンと中心コンタクトが定位置に入った事を確認する。



④ 圧着スリーブをスライドさせ外部導体へかぶせ圧着工具のA部で圧着させ作業を完了する。

◆TA-35をご使用の場合は、別紙「TA-35圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。

TA-35圧着工具 ご使用上の注意

(本体表示：53-8242)



株式会社 **トーコネ**
TO-CONNE CO.,LTD.

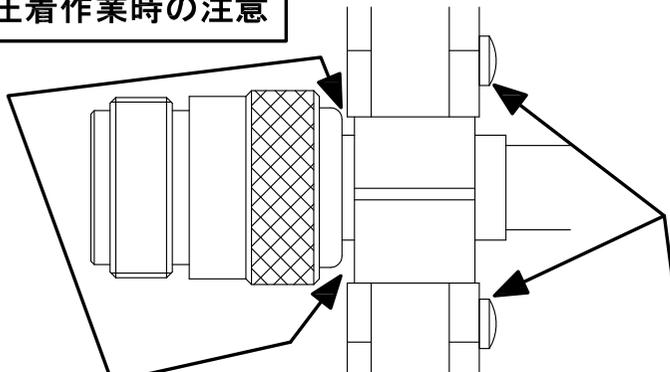
作成 確認

山
'12,11,14
本

檜
'12,11,14
澤

◆TA-35圧着工具をご使用の際は、下記に注意してご使用ください。
コネクタの形状により、圧着工具の部位が接触しコネクタにキズがつく場合があります。

圧着作業時の注意

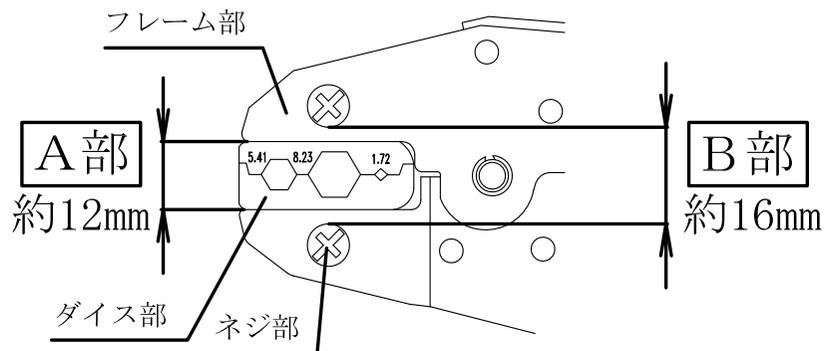


① フレーム部に当たらないように
ダイスとの隙間に注意 **※注1**

② ネジ部に当たらないように注意

A部

ダイス幅よりもフレーム部の幅が大きく、コネクタの圧着部付近が下記寸法よりも大きいコネクタは接触しないよう注意が必要です。

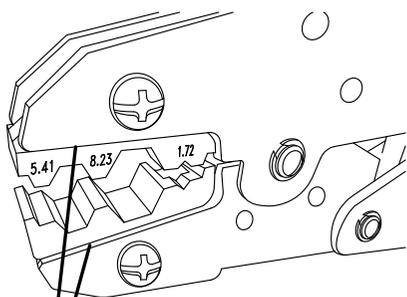
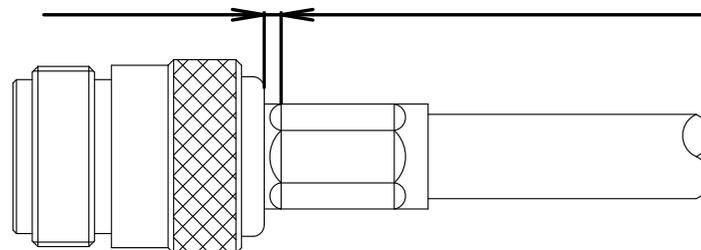


B部

圧着部付近が16mmを超えるコネクタは圧着工具のネジ部が当たらないように、向きを変えて作業してください。

※注1

仕上がり状態で、下記範囲が1.5mm以下になるように作業をおこなってください。



フレーム部は両面共に注意すること

